

YMCA News



神戸YMCA年間聖句「あなたの未来には希望がある」(エレミヤ書31章17節)

日本YMCA 新ブランドロゴ・スローガン

日本のYMCAには130年を超える歴史があります。その成果と価値を新たな未来へとつないでいくために、そしてこれからも必要とされ、多くの方々に選ばれる存在となるために、YMCAは決意を持って新しい旗印となるロゴ・スローガンを掲げます。



Brand Logo



愛称 “ポジティブY”
新しく定められたブランドロゴの愛称は「ポジティブY」です。鳥が飛び立とうとする瞬間の姿をモチーフにしたシンボルで、一人ひとりの生命の息吹、未来へ向かう前向きな力、平和への想いを表現しています。
◇鳥が飛び立つ姿を、アルファベットのYが想起される形に重ね合わせています。
◇「みつかる。つながる。よくなる。」という3つのバリューと、Spirit, Mind, Body を表す逆三角形が内包された構成で、新たにYMCAが提供を約束する価値と、変わることはないYMCAの精神の両方が込められています。
◇柔らかな曲線と鮮やかなレッドによって、生命の息づかい(生命感)と、YMCAがめざす希望ある豊かな社会が実現される印象を感じさせます。

Brand Slogan

みつかる。つながる。よくなっていく。

スローガンは、ブランドコンセプト(私たちの約束)のエッセンスを魅力的に伝える端的なメッセージです。今後の対外的なコミュニケーション展開の核として、積極的に使用されるものです。

Brand Concept

ビジョン (YMCAが実現したい世の中の姿)
互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」(注)のある豊かな社会を創る。

バリュー (YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値)
したい何かが見つかり、誰かとつながる。私が高くなる、かけがえのない場所。

パーソナリティ (ブランドとして備えているべき個性、らしさ)
心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

(注) ポジティブネット
互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

あなたが、したい何かを「みつける」ために。

プログラム
YMCAは、多様なニーズに応えられるよう、幅広い活動を展開していきます。

あなたが、「つながりたい」誰かを探するために。

活動拠点
YMCAは、家族、コミュニティ、全国、世界の人びととの「つながり」の創出を大切にしていきます。

あなた自身の人生がもっと「よくなる」ために。

かけがえのない場所として
これからの世界に不可欠な、かけがえのない場所になっていきたい、YMCAはそう願っています。

ストーリー&フォトコンテスト
作品募集(予定)

テーマ YMCAにまつわる
「みつかる」「つながる」「よくなる」「かけがえのない場所」
部門 【YMCAストーリー部門】 実際のYMCAとのかかわりや出来事の物語を応募します。
【YMCAフォト部門】 実際のYMCAとのかかわりでの写真を応募します。
※詳細は後日ホームページに掲載予定です。www.kobeymca.org

学校法人神戸YMCA ちとせ幼稚園

神戸YMCAちとせ幼稚園には2歳児を対象とした「さくらんぼ組」があります。2歳児ならではの遊びや生活をしようと週2、3回幼稚園へ遊びにやってきました。園庭で思い思いにゆったりと遊んだり、みんなで歌を歌ったり、時には絵の具など家庭ではなかなか体験できない遊びをしたり、心と体をいっぱい動かして、初めての家族のいない環境でも安心して遊んでいます。

春から夏を過ぎて先生や幼稚園にも慣れてきた2学期。さくらんぼ組は連携園であるYMCAちとせ保育ルームへ幼稚園バスに乗って出掛けました。大好きな友だちや先生と出掛けるだけでも楽しいですが、着いた先には1歳から3歳までの保育ルームのお友だちと先生が待っていました。おもちゃを見つけて遊んだり、水槽のザリガニに夢中になったり、大きな棚に入ってみたり、初めての場所でものびのび遊ぶさくらんぼ組です。この日の最後は保育ルームもさくらんぼ組も大好きなエビカニクス体操をして大いに盛り上がりました。また運動会では2クラス一緒にプログラムに参加しました。

どんどん遊びが広がっていくのは「おもしろそう!」という意欲、そして「大丈夫」という温かい安心感がある環境だからだと思います。個々としても集団としても子どもたちと丁寧に関わり、思いを受け止め、安心できる社会への一歩目を踏み出せるYMCAでありたいと思います。



YMCAの保育園 こども園(学園都市)

秋の季節を感じながら、親子で思い切り楽しむ「ふれあい運動会」が、9月30日(土)晴天の下、神戸市立小寺小学校をお借りして開催されました。保護者の皆さん、児童のおじいちゃん、おばあちゃんや地域の方々、およそ1000名の方の歓声で満たされました。

3歳児から5歳児までの子ども達は、日ごろの保育で「運動会遊び」を行います。「タイヤ引きあそび」「リレーあそび」のなかで、どうしたら上手く引っ張れるか?順番をどうするか?などを話し合いながら作り上げます。

決して、見てもらうための運動会だけではなく、持っている力を精一杯出して、表現し、体を動かすことを楽しむのです。

プログラムとプログラムの間は、子ども達が日ごろ歌っている讃美歌の伴奏



が流れだします。そうしますと会場中に子ども達の大きく、元気な歌声が響き渡りました。神様に与えられた心と体を十分に発揮した運動会でした。



須磨センター学童保育

「自分たちで考えて、行動して、譲り合って。」



須磨センターの学童保育では、毎月1回「体育館ゲーム」という時間を設けています。その時間は須磨センターに併設されているちとせ幼稚園の体育館で思い切り身体を動かします。10月の「体育館ゲーム」はドッジボールでした。学年に関係なく、

ドッジボールを楽しむ姿がありました。しかし、初めからみんなでドッジボールを楽しむことができたわけではありません。

夏休み中、3年生のある子から「体育館でドッジボールがしたい!」とリーダーに要望がありました。学童の子どもたちは体育館を使いたい時、使えるかどうかを自分たちで交渉しに行きます。日程が決まり、さあ当日です。しかし、5・6年生は「3・4年生が入るとおもしろくない、自分たちだけでやりたい!」という思いが強く、3・4年生は「やりたいけど、5・6年生の投げるボールが強くて怖い・・・。」とそれぞれの思いがバラバラでした。「ドッジボールがしたい!」という気持ちは一緒なのに、なかなか上手くいきません。

そんなとき、5・6年生の数人から「当たっても痛くないように、やわらかいボールでやろう!これで3・4年生も入れるやろ!」と提案がありました。この提案に始めはしぶしぶだった3・4年生もいつの間にか大盛り上がり。

「ドッジボールがしたい!」という思いを実現するために、それぞれが自分たちで考え、行動し、譲り合ったことが、学年に関係なくドッジボールを楽しむことに繋がりました。リーダーからの提案を待つのではなく、自分たちで物事を進める「自主性」を育てるように、これからも私たちは子どもたちと関わっていきたいと思います。

あかしこども広場「AKASHIユーススペース」

高校生によるライブイベント 『ROCKIN' YOUTH FESTIVAL ～エンドレスサマー～』

9月10日、高校生企画のライブイベント『ROCKIN' YOUTH FESTIVAL～エンドレスサマー～』を開催しました。このイベントは、あかしこども広場内のAKASHIユーススペースにある音楽スタジオを利用して4名の高校生の「ライブをしたい!」という声から始まりました。まずはライブイベントを開催するための出演者を募集し、賛同して集まった仲間とミーティングやリハーサルを重ねました。スタッフとしてイベントを支えたいという高校生も加わり、そして迎えたライブ当日、多くの仲間が集い、声援を送っていました。出演バンドのうちの2つは今回がライブデビュー。当日はハプニングもありましたが、企画から運営まですべて高校生自身が互いに支え合って作り上げた今回のライブイベント。イベントを終えた高校生一人ひとりの頼もしく、晴れやかな顔が印象的で終始あたたかいひとときでした。

観客の高校生の中から「次は出演したい!」という声もあがっており、次回が楽しみです。



神戸YMCAベルクワイアー

クリスマスコンサート2017のご案内

日時: 2017年12月23日(土/祝) 14時30分開演

場所: 神戸芸術センター『芸術劇場』

神戸市中央区熊内橋通7-1-13

チケット: 前売り1,800円 当日2,000円

問合せ(前売りチケット販売): 神戸YMCAカレッジ 078-241-7203



会館建築募金 (前号掲載以降～9/30現在)

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

長畠トヨ子、小野勲紘、松田道子、田中宏明、藤井義文、竹内郁夫・豊子、兼田幸子、重成和秀、栄俊臣、桑野友子、矢野寛子、小泉啓子、中嶋知子、小田俱義、駒田利美、澤野祥二・茂登子、黒田恭子、株式会社シミズテック、神戸空港タクシー株式会社 東 裕子、沼島・スキーリーダーOB有志、全国YMCA ICT担当者会有志、民谷清、匿名5件

九州北部豪雨災害支援募金感謝

神戸YMCAでは日本各地のYMCAと協力し、豪雨災害支援として募金の呼びかけを行いました。皆様から寄せられた募金235,628円は、日本YMCA同盟を通じて、九州北部災害支援プログラムに用いらさせていただきます。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

★★ 個人消息 ★★

【ご結婚】

9/20 CSC 奥田慎司さん(北川 和さんと)

【ご逝去】

10/11 井上純子さん(神戸学園都市YMCAこども園)

灯台 Light House

No.15

総主事 井上真二



弟子の足を洗うキリストの絵

今年の5-6月号の当コラムで書きました三宮会館2階チャペルの絵についてのエピソードを、元職員の二宮英喜主事からいただいたお手紙を抜粋してご紹介します。

～予備校を担当していた1978年、田中忠雄画伯のステンドグラスを見たことで、三宮会館(旧会館)の中に田中先生の絵が欲しいと思い、今井総主事(当時)に相談し許可を得て、田中先生に要請した。先生から思ったより早く「広島に行く用事があるのでその帰りに寄らしましょう」とのお返事でお会いすることができ、挨拶もそこそこにチャペルの中に入られ、横や後ろの壁を見て回り「さて、どちらの壁に掲示されますかね」とお尋ねになった。初対面の失礼をも顧みず、先生の手を引っ張るようにしてチャペルから出て入り口のドアの上を指差して「先生この出入り口の上部です!」と答えた。数日後、OKの返事が届き、「テーマを示して欲しい」とのことで、総主事に相談し「奉仕」「仕え、支える」をテーマにして描いて欲しいとお願いし、やがて、先生から「弟子の足を洗う」あの大作が送られてきた。職員皆で荷を解きあって、姿を現したときは嬉しさの余り「オー!」と喜びの声を上げた。1980年12月の役員・職員のクリスマス晩餐会には先生ご夫妻にお越しいただいた上、持参されたスライド写真をもとに古今東西のイエスキリストの有名な作品についてお話をしてくださったことも印象深い。～

「チャペルの中ではなく出入り口の上部に掲げたのは、予備校に通ってくる学生が1年間に約800人おり、チャペルの横を通る学生のうち、ひとりでもキリスト教に興味をもち、信仰に導かれたらという願いをもったからだ。」(二宮主事談)とのことでした。

聖画が掲げられたクリスマス晩餐会から約35年、予備校生だけではなく、何人の来館者がこの聖画を目にしたのでしょうか。人の子がきたのは、仕えられるためではなく、仕えるためであるというキリストの教えを働きの原点とし、キリストの愛という根源を心に抱きたいと思います。



※お詫びと訂正 9-10月号、今井鎮雄さんは第6代総主事です。

2017年度 全国YMCAリーダー研修会



今回の全国YMCAリーダー研修会は、10/7～9の2泊3日で、広島県の川・森・文化・交流センターにて、広島YMCAの主管で行われました。毎朝行われた礼拝、座学、キャンプファイヤー、夜の交流会など、どの時間も全国の同士たちのパワーに触れ、仲間がいることの素晴らしさを改めて実感しました。

座学の内容も素晴らしかったのですが、その都度その内容について経験をもとに話し合う時間があったことが1番よかったと思います。他のYMCAのリーダーと納得行くまで話し合い、気づいたら朝になっていたのは、とてもいい思い出です。

また、子どもたちと一緒にするゲームや歌を他のYMCAの人からたくさん教えてもらい、リーダーとしての引き出しを増やすことができました。大きな夢や目標を持っている人がたくさんいて、悩みながらもまっすぐかっこよく前に進もうとしていました。

活動がちがっていても、それぞれ熱い思いを持つ全国のリーダーと話をし、自分にはなかった視点に触れ、柔軟な考えを学びました。

このようなかけがえのない3日間を与えてくださった皆様、ご支援くださったワイズメンズクラブの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を多くのリーダーに伝えていくことでYMCAがよくなっていくよう努力いたします。



余島リーダー会：中村有珠、秋吉岳司
三宮リーダー会：越生寛子
西神戸リーダー会：合田奈央、二宮理央

ワイズメンズクラブ 六甲部会が 開催されました



9/24(日)にワイズメンズクラブ六甲部会が開催されました。

第一部は、神戸YMCA三宮会館・チャペル。第二部はホテル北野プラザ六甲荘にて行われ、全国のワイズメンズクラブから約150名の方々が出席をされました。第一部は、六甲部・各ワイズの状況や取り組みについて各事業主任やクラブ会長からの報告が行われました。第二部では、クラシック演奏・コンサートにはじまり、食事を取りながら出席されたみなさまが交わりのひと時を過ごしました。第一部を三宮会館・チャペルで行っていただくことを通じて、準備・進行に関してYMCA職員とホストクラブのワイズメンバー間でたくさんの協議や意見交換等がなされて実施された今回の六甲部会でしたが、いつも杉本隆人部長が仰る「YMCAとワイズの協働」が形になって表れた会となりました。

シリーズ こくさいのまど 54

「ホストファミリーを体験して」

中学3年生の息子がニュージーランドへ留学に行くことになりました。息子が英語を喋れるかどうかより生身の人間としての交流ができるのかが心配でした。留学先の教室の隅で楽しそうに会話しているクラスメイトを横目に見ながら、たまに話しかけられると愛想笑いを浮かべる息子の姿を想像していました。子どもの夏休みに家族で海外旅行を用意したい気持ちもありましたが、長期休暇を取ることが難しく思案していたところ、アメリカ・シアトルから中高生を受け入れるホームステイプログラムに参加することにしました。妻も前向きに賛成してくれ、思い切って受け入れすることにしました。とはいえ私自身英会話がそんなにできません。学生時代に英会話学校でアルバイト(事務作業)したぐらいできちんとコミュニケーションできるか不安でした。気休め程度にテレビでNHKの大人の基礎英語を2か月くらい見ていました。

緊張していた対面式もすぐに打ち解けあって家に帰るころには休みの日に行きたい所について話が弾んでいました。息子はシアトルのメンバーと京都や大阪へも同行し、他のメンバーとも仲良くなりました。心配していた英会話も身振り手振りや単語の羅列で何とか通じ、通じ合える喜びがこんなに大きなものであると家族で改めて実感できました。海外旅行に行くより中身の濃い国際交流をすることができました。また改めて日本に関する気付きもありました。そうめんを食べる時めんつゆにつけて食べるのが当たり前ですが、彼はそのまま食べようとしました。抹茶アイスはお茶なのにスイーツになっていて不思議だと言っていました。動物の数え方について「匹」と「頭」の区別など普段気にしないことを質問されました。本当に楽しい6日間を過ごすことができ、時間が足りないくらいでした。最終日息子は空港まで見送りに行き、また会えることを願って別れを惜しみました。現在もSNSでつながっており、いつかシアトルへ会いに行きたいと思っています。この出会いを大切に、未永い交流を続けていきたいと思えます。

杉下ファミリー

2017年7月29日～8月2日

シアトル中高生受け入れプログラム



※ホストファミリー登録にご興味のある方は
神戸YMCA国際・奉仕センター (078-241-7204)
までご連絡ください。

神戸YMCA国際ホテル学校・神戸YMCA学院専門学校ホテル学科 新会館竣工記念ホームカミングデイ ご報告



9月27日(水)、神戸YMCA国際ホテル学校・神戸YMCA学院専門学校ホテル学科・ホテル専修科の卒業生を対象としたホームカミングデイを開催いたしました。1965年に卒業された1回生から今年3月に巣立ったばかりの皆さんまで、幅広い年代の卒業生と、当時担当されていた教職員、現役学生を含め約100名の方に出席いただきました。

第一部では、ホテル・観光業界随一の出版社である株式会社オータパブリケーションズの太田進社長の基調講演があり、業界に携わる卒業生や現役学生へ熱いメッセージをいただくことが出来ました。

第二部の懇親会では、旧交を温めている姿が随所で見られ、在校生は先輩方との交流を通してYMCAの歴史に触れ、当時の貴重なお話に感銘を受けていました。

今回のホームカミングデイを通じ、改めてこれまでの歴史の中で築かれてきた人と人とのつながりを感じることができました。これらを大切に、教職員一同、次の世代に向けた学校運営を行って参ります。

国際協力募金キックオフ

今年も秋から冬にかけてYMCA国際協力募金の強化月間が始まりました!

YMCA国際協力募金は、世界119の国と地域に広がるYMCAのネットワークを通じて、すべての人々が国・民族・宗教の違いを超え、一人ひとりのいのちが大切にされる平和な社会を創り出すために用いられています。社会のニーズを見つけ、地域の人々とつながり現地の「声」を大切にすることで一人ひとりがよくなっていきます。



神戸YMCAでも「YMCAの願い」を実現していくために国際協力募金を用いて様々な活動を行っています。今年も皆様と共にYMCA国際協力募金を通して国内、アジアのこどもたち、ユースの豊かな育ちのためにご協力いただきたくお願い申し上げます。

2017年度 募金目標3,340千円

- ◎アジアの農村支援・青少年育成 400千円
- ◎国内外の国際分野における指導者育成 1,130千円
- ◎パレスチナ難民への支援 68千円
- ◎国内外の災害緊急支援 570千円
- ◎海外からの日本語学習者支援 480千円
- ◎日本YMCA同盟拠出金・事務局経費 692千円

冬季キャンプ

人生で大切なことは全て、YMCAキャンプで教わった

普段の生活から離れて飛び込む、キャンプという世界。大自然を舞台に、子どもたちは多くのことを体験します。仲間やリーダーと初めて出会い、遊びや生活をしていく中で、ともに笑い合い、時にはケンカをしたこと、そして時には神秘的な壮大さを感じる自然をみて心震えたこと。困難に直面した時に、自ら考え行動し、仲間と力を合わせたこと。これまでに経験のないチャレンジが自分を確かめる機会になったこと。様々な感情の自分自身と出会い、自分を省みたこと。そんなかけがえのない経験の全てが、子どもたちを大きく育てていきます。

神戸YMCAでは、キャンプを通じてお子様にとってかけがえのない育ちの場をともにしたいと考え、この冬もウィンタープログラムを計画しております。皆さまのご参加をお待ちしております。



<http://www.kobeymca.org/fuyuharu/>

神戸YMCA高等学院 キャンプ

9/25(月)~26(火)、総合的な学習の時間として、六甲山YMCAにて1泊2日のキャンプを体験しました。阪急六甲駅に集合、グループごとに登山ルートを確認し、六甲山YMCAを目指して歩きました。4時間以上かけて登り、くたくたに疲れましたが、グループの仲間と達成感を分かち合いました。

キャンプ中、神戸学園都市ワイズメンズクラブの方々にもプログラムにご協力いただきました。いつもありがとうございます。

自然豊かなフィールドを利用して、楽しみながら、カヌーや飯盒炊爨など、グループワークを体験し、あらためて自然や仲間の素晴らしさに気づきました。



第37回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会



※写真はニアピン賞の皆さんです。

10月11日の秋晴れの下、チャリティーゴルフが行われました。37回目を迎える今大会は、キングスロードゴルフクラブにて行われ、45名のご参加をいただきました。

当日参加できなかった方からもチャリティー協力金や物品をいただきました。収益金から諸経費を除いた約21万円は、神戸YMCA青少年指導者養成支援金として、また一部を東日本大震災・熊本地震の復興支援として用いさせていただきます。このように多額の支援金を頂戴することができ心から感謝しております。

どなたでもご参加いただけますのでお気軽にご参加ください。次回は2018年5月に千刈カンツリー倶楽部を予定しております。

当日参加者と募金をいただいた方々は、以下の通りです。(敬称略、順不同)

- 朝倉 恵美子、石丸 鐵太郎、一柳 謙二郎、井上 真二、岩本 三好、上野 恭男
 大江 彬甫、大島 則夫、大田 靖之、大西 弘一、岡野 泰和、岡本 繁、長内 建佑
 尾上 尚司、笠原 弘之、柏原 佳子、加藤 金行、小園 大成、小園 僚子
 佐々木 留奈子、清水 泰人、上念 賢治、白川 京林、菅原 徹、鈴木 博和、高畑 英夫
 武田 寿子、辻野 圭介、坪井 宗孝、堂本 将司、中尾 英輔、中村 博一、濱 浩一
 濱 美智子、日野 岡慎一郎、松井 隆介、万本 敬一、山口 政紀、山口 洋子
 山崎 祐子、山田 容子、山本 克己、山本 常雄、横山 嘉夫、吉岡 智成、岩田 洋子
 武内 浩子、熊谷 郁子、阪根 新

【日本YMCAスタッフ研修STEP II より】

9/19~12/2まで、全国のYMCAから10名のスタッフが集い、日本YMCA同盟が定める、長期のスタッフ研修が行われています。神戸YMCAからは、山田浩介と松田康之が参加しています。今回は現地の様子をお伝えします。

STEP II では、9月は御殿場にあるYMCA国際青少年センター東山荘で、10月は東京の在日本韓国YMCAが運営するAYC (Asia Youth Center) で研修が行われます。11月には、再び東山荘に戻り、各自の設定したテーマに沿って修了論文を作成します。

研修では、キリスト教理解、YMCA理解の深化、組織運営など主事として必要な項目を、YMCA内外の講師、計29名を招いて、学びます。これまでのYMCA、そしてこれからのYMCAの歩みを確かなものにしていくために、地域の人々に仕えるYMCAであるために、この研修での学びを活かしたいと思います。

多くの方々のお支えに送り出されて、貴重な学びの機会を与えていただけることに心より感謝いたします。

(山田浩介、松田康之)



YMCAセミナー案内

「キリスト教の香りとYMCA」

11/18 (土) 13:00~15:00 神戸YMCA 三宮会館・チャペルにて

このセミナーは、YMCAの使命と現代の社会課題を照らし合わせながら、この時代におけるYMCAの働きを考える場として、神戸YMCAミッション委員会が中心となり計画・実施されているものです。今年には日本のYMCAにとってもブランディングが大きく進む節目の年となります。この時に、私たちの根拠である「キリスト教使命」に焦点を当てながら、未来への展望をともに考え、共有できればと願っています。

私たちはこれから YMCAの「C」というヘリテージをどう携え、どう活かしていくか?若くしてぐんまYMCA 総主事に就かれ、その働きが注目される村上祐介氏。今年度 日本全国のYMCAをとりまとめる日本YMCA同盟 総主事に就かれた神崎清一氏。これからの日本のYMCAを動かすおふたりを神戸に迎え、我らが神戸YMCAの井上真二 総主事とともにYMCAの「C」を熱く語っていただきます。

事前申込不要 無料

神戸市民クリスマスのご案内

日時:12/15 (金) 17:00~21:30

会場:日本基督教団 神戸栄光教会

街角や教会でクリスマスキャロルを歌い、メイン会場へと歩いて向かう①キャロリング。小さなお子さまを対象に、クリスマスの歌やお話、大学生のお兄さん・お姉さんによるペープサートやクラフトなどを行う②子どもプログラム。小さなお子さま連れや高齢の方など、キャロリングへの参加をためられる方も、気軽に参加できるように暖かい飲み物とスナックなどを、ご用意してふるまう③ほっとタイム。クリスマスの物語に込められた希望と喜びのメッセージを聴き、聖歌をうたう④祈りと祝福のとき。さまざまなプログラムで共にクリスマスを迎えたいと思います。どなたでもご参加いただけます。(入場無料)

- 1. キャロリング 17:00~18:30 (北野コース・元町コース)
- 2. 子どもプログラム 17:30~19:30 (入退室随時可)
- 3. ほっとタイム 18:00~19:15
- 4. 祈りと祝福のとき 19:30~20:30
- 5. 青年のつどい 20:30~21:30



2017年11月1日発行
 1947年10月27日
 第3種郵便物認可
 発行所/日本YMCA同盟
 東京都新宿区本増町 2-11
 THE YMCA神戸版
 神戸YMCA
 〒650-0001
 神戸市中央区加納町 2-7-11
 Tel 078-241-7201
 Fax 078-241-7479
 www.kobeymca.org
 発行人/井上 真二
 編集人/西田 勉
 印刷/わかばやし印刷



Information

ファミリーウエルネスセンター
 YMCAホームヘルパーの事務所
 ランゲージセンター
 専門学校
 西宮YMCA
 三田YMCA
 余島野外活動センター
 デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
 国際・奉仕センター
 ウエルネスセンター学園都市
 西神戸YMCA
 神戸YMCA高等学院

☎078 (241) 7202
 ☎078 (241) 7237
 ☎078 (241) 7204
 ☎078 (241) 7203
 ☎0798 (35) 5987
 ☎079 (559) 0075
 ☎0879 (62) 2241
 ☎078 (241) 7216
 ☎078 (241) 7204
 ☎078 (793) 7401
 ☎078 (793) 7402
 ☎078 (793) 7435

YMCAおひさま
 西神南YMCA
 須磨YMCA
 YMCA保育園
 西宮YMCA保育園
 西神戸YMCA保育園
 神戸学園都市YMCAこども園
 神戸YMCAちとせ幼稚園
 YMCAちとせ保育ルーム
 西神戸YMCA幼稚園
 西宮つとがわYMCA保育園
 あかしこども広場

☎078 (793) 9077
 ☎078 (993) 1560
 ☎078 (734) 0183
 ☎078 (794) 3901
 ☎0798 (35) 5992
 ☎078 (792) 1011
 ☎078 (791) 2955
 ☎078 (732) 3542
 ☎078 (786) 3821
 ☎078 (997) 7705
 ☎0798 (26) 1016
 ☎078 (918) 6355